



photo Takumi Ota

Distillations of Architecture House / Means

2024 April 27, 15:00-17:30



©JUMPEI SUZUKI

概要

建築と結びつくと、「Distillation（蒸留）」とは、無駄を排除し建築のアイデアを洗練するプロセスとして建築家デザイナーにとって大切な作業です。今回のフォーラムでは、建築の蒸留をテーマに現在様々な観点から興味深い手法と技術を用いて研究を行っている建築デザイナーと素材作家を招待しました。家具という概念を再考することから住空間もまた建築の蒸留の結果として精製される可能性があります。

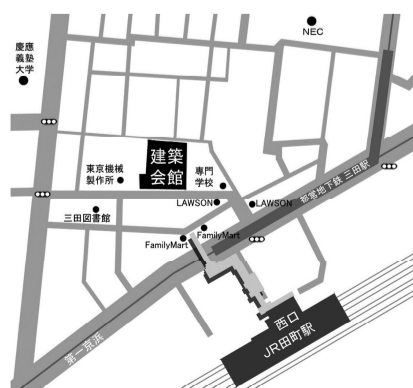
「Furniture（家具）」の語源は、フランス語の「furniture」、ラテン語の「mobiles」まで遡ります。基本的に、それは移動性と適応性に基づき一定の耐久性を兼ね備えた生活機能を満たすオブジェや装置を指すようです。また一方、日本語の「家（house）」と（動）「具（means）」を組み合わせた言葉は床を中心とした生活空間を反映しており椅子やテーブルなどが存在しなかった時代から受け継がれています。現在一般的な家具が消費品として量産されその概念さえもが家から切り離されるべく中、その現状にあたかも疑問を投げかけるかのように建築の要素を家具に融合させるような作風を持った建築家や素材や伝統技術の応用を試みる研究者がいます。彼らは可動性や連鎖性、コンパクトさを追求し、法的・経済的な課題に巧みに対応しながら、環境を重視し住的空間を再定義しています。多くのプロジェクトは都市から個々の人体までスケールを移行し、建築のアイデアを蒸留し、手段の経済性を体現しているかのようです。今回のフォーラムに続き、今年11月にはロンドンのAAスクールにて同タイトルの展覧会「Distillations of Architecture - House / Means」の開催が予定されています。今回の4名の建築家デザイナーと4名の素材制作研究者がペアを組み、現代都市における家具と建築との曖昧な関係を体現するプロトタイプオブジェクトを共同で制作する挑戦に臨みます。

日程

受付開始 14:30
講演時間 15:00 - 17:30
懇親会 17:30 - 19:00
ラウンドテーブル形式の対談。
懇親会は講演終了次第開始となります。

会場

〒108-0014
東京都港区芝5-26-20 建築会館 1Fホール



参加者

Ingrid Schroder

AA School 学長・建築家

江頭 慎

AA School ディプロマユニットマスター
建築家・美術家

長坂 常

スキーマ建築計画
<https://schemata.jp>

常山 未央

Studio MNN
<https://studio-mnm.com>

山田 紗子

山田紗子建築設計事務所
<https://suzukoyamada.com>

西川日満里・千葉元生・山道拓人

ツバメアーキテクト
<https://tbma.jp>

岩岡 孝太郎

飛驒の森でクマは踊る
<https://hidakuma.com>

And more

参加申込

右記QRコードを読み取り、申し込みフォームからお申込み下さい。
定員に達し次第、参加申し込みは締切りとさせていただきます。
問合わせ窓口：前田建設工業株式会社 設計戦略部
横井：Mail yokoi.s@jcity.maeda.co.jp Tel 070 1079 4264



主催

前田建設工業株式会社
Architectural Association School of Architecture

